



国際会長ニュース

自己を超えて、変革を起こそう

2022年11月



11月の強調月間- 100周年祝賀と親睦の構築

2022年、ワイズメンズクラブ国際協会は、創立100周年を迎えます。1920年、ポール・ウィリアム・アレキサンダー判事は、アメリカ・オハイオ州のトレドで、地元のYMCAを支援するために「Tolymca」と名付けた最初のクラブを立ち上げました。ワイズメンズクラブ国際協会は、1922年のアトランティックシティの大会で設立されました。

この歴史的な時期にクラブ会員であることは、大きな特権であると同時に、より大きな責任を伴うものです。100周年は、創立者や過去の功績を振り返る時期でもあります。より重要なのは、前を向く時期であるということです。私たちは素晴らしい遺産を与えられていますが、何を引き継いでいくのでしょうか。私たちの未来の構造物を決定し、その基礎を築くことは、私たちの緊急の義務です。次世代のクラブ会員が、自分たちの歴史を構築するための強固で重要なものを受け継ぐことができるよう、私たちは、共にこの運動の意義を深め、奉仕活動を増大させなければならないのです。

チャレンジ22は、YMI運動を強化するための運営計画で、2022年までに3,000クラブ、100カ国で5万人のクラブ会員に拡大するための戦略的ステップを含んでいます。チャレンジ22は、私たちの偉大な国際運動の共通の利益と未来のために、すべてのクラブ会員が丸となって取り組むことを約束するものです。この目標を達成するためには、すべての人が熱意をもって取り組まなければなりません。そこで、皆さまの協力が必要なのです。

私たちが最も重視するのは、的を絞った会員増強活動です。

チャレンジ22の一環として、3~4人のクラブ会員が集まって自分のクラブに1人の新会員を勧誘することが奨励され、各クラブは少なくとも1つの新クラブをスポンサーすることに挑戦しています。

ビルディング・フェロウシップ・プログラムは、「ビショップ基金」として知られており、1931年に始まりました。1968年から2022年までは、「ブラザーフード基金」として知られていました。当初の目的は、北米以外の地域での活動を推進し、他の地域からワメンイズが国際大会（当時は常に北米で開催）に参加できるようにすることでした。

その後、大陸間、区間、クラブ間の訪問活動や、国際役員や公式代表者の海外渡航費を支援するために拡大しました。当初は、使用済み切手の販売が主な収入源でしたが、後に各クラブからの現金寄付によって補強されました。

現在では、その名が示すように、クラブ会員間の親睦を図り、ワイズメンズクラブ国際協会の活動においてリーダーシップを発揮してもらうことを目的としています。

国際会長
K・C・サミュエル

YMI100周年記念祝賀会の経過報告



100周年記念品の参考例



2023年3月9日から12日にかけて行われるワイズメンズクラブ国際協会100周年記念祝賀会の機会に、皆さまには台湾・台北を訪れていただきたいと思っています。

ご承知のように、このイベントは2022年11月14日から17日まで、台湾・台北のグランドハイアットホテルで開催される予定でした。しかし、パンデミックによる政府の規制により、計画は極めて困難なものとなりました。旅行に関する課題が継続し、ホテルや航空券の費用が大幅に上昇したことで、多くの不確実性が生まれました。私たちは、祝賀会を中止するか延期するかというジレンマに直面しました。私たちは、国際執行役員に働きかけて解決策を検討し、国際議会は2023年3月9日から12日に延期することに合意しました。

新しい日程には、パンデミックが終わる可能性が高くなるなど、多くの利点があります。航空会社やホテルの手配もよりわかりやすく安価になり、台湾のビザや入国条件も通常の状態に戻ることが期待されます。また、3月は、天候にも恵まれています。これらすべての重要な要因が、新しい日程で進める自信を与えてくれます。

ホストコミッティーは、文化的なパフォーマンス、晚餐会、エクスカージョンなど、ほとんど当初から変更のないプログラムを用意しています。特に、基隆港での「クジラ救出プロジェクト」や、台北ゴルフカントリークラブで開催される人気の「ロールバックマラリア・ゴルフトーナメント」などは注目です。

これまでは収入がないため、資金繰りに限界がありました。そのため、イベント開催にあたっては、献身的なボランティア私費に頼ってきました。グランドハイアットホテルとの契約、ウェルカムパックの準備、記念品の手配、エンターテイメントグループのブッキング、ビデオ制作など、多くの先行費用が必要です。このように、実行委員会とイベントを支えてくれる熱意ある仲間たちに、心から感謝しています。

3月に皆様をお迎えするのを楽しみにしています。2022年12月31日まで早期割引登録料が提供されますので、早めに登録して、お得に楽しみましょう。100年に1度の貴重な体験をお見逃しなく。

台北でお会いしましょう

新日程：2023年3月10日～12日
会場グランドハイアットホテルー台湾、台北市
参加登録：<https://ymi-100.org>



100周年記念祝賀会の企画



チャーミング・シェン
ワイズメンズクラブ国際協会100周年ホストコミッティー委員長

国際本部ニュース：2022年11月

ジュネーブは涼しくなってきました。紅葉も始まっています。11月といえば、もう、クリスマス、年末年始にわくわくし始めます。

11月は「ビルディング・フェロウシップ (BF)」プログラムに焦点を当てる月です。この名称は、ブラザーフード基金の新しい名称であることをご認識いただければ幸いです。昨年召集された特別タスクフォースは、私たちの最も古い国際プログラムであるこのプログラムを、今日の会員に合うように近代化し、再適応するよう勧告し、国境を越えた親睦と知識の構築という本来の目的を再び優先させました。新しい方針では、BF収入の60%を旅行助成金と指導者育成に充てることにしています。

すべてのクラブに、BF代表の受け入れを検討することをお勧めします。あなたのクラブには、兄弟クラブがありますか。そのクラブの会員に直接会って、あなたの家や活動を直接見せられたらいいと思いませんか。ホストの希望は、区理事に相談してみてください。BF代表の受け入れは、毎年12月1日まで受け付けています。それぞれの地域が少なくとも年に1回、BFの機会を提供することが強く望まれています。BFの旅は、最短で1週間、プログラムの成功は、あなたの参加にかかっています。BF代表を受け入れると、グッドスタンディングなクラブは翌年BF代表を派遣する資格を得ることができることをお覚え下さい。BF代表の派遣にご興味のある方は、1月3日から5月1日まで応募フォームを受け付けています。詳しくは、[ウェブサイトをご覧ください](#)。

国際会長と国際会計の候補者が国際議会によって選出され、今年の選挙投票に登場することになり、祝福を分かち合えることを嬉しく思います。アジア太平洋地域からは、長年にわたり活躍してきた二人のリーダーが次期国際会長に立候補しました。南東アジア区のスー・テン (デビッド) ・ルアと台湾区のシェン・チ・ミンです。二人とも国際議員の経験があり、国際レベルの様々なワーキンググループや委員会に参加しているので、この職務に関連する責任を果たすのに十分な資質を備えていると思われる。

現職の国際会計T・M・ジョース (西インド区)、元国際会計のエリック・ブリューム (デンマーク区)、元理事のジェイコブ・ヴァルギース (南中インド区) が次期国際会計の候補者として指名されています。投票する際には、十分な情報を得た上で決断することができるよう、[各候補者について知ること](#)をすべてのクラブにお勧めします。投票権をお持ちのクラブは、その権利を行使することを忘れないでください。皆さんの声が重要なのです。

11月には、国際レベルでの100周年記念行事も正式にスタートします。すでにご存知のように、台湾での新型コロナウイルス規制に関する不確実性が続いているため、国際議会は台北でのイベントを2023年3月10～12日に延期することを決定しました。しかし、11月13日に歴史プレゼンテーション、ビデオ、歌などを含むウェビナーを開催することが決定しましたので、お知らせします。皆さまをご招待します。詳細は、近日中にお知らせします。

新しい枠組みである「戦略2032」の中で、私たちの運動を構築し、強化するための作業が続けられています。新しい「インパクト・コミュニケーション・チーム」と「次期クラブ会長・タスクフォース」による会議が開かれました。昨年、国際憲法と組織構造を近代化する方法を検討し始めたワーキンググループは、その検討を続けています。

最後に、[100日間会員増強キャンペーン](#)についてお知らせします。より多くの方からのご回答を期待しておりましたが、アンケートにご協力いただいた皆さまに感謝いたします。このキャンペーンは12月9日まで続きます。新メンバーの勧誘や新クラブのスポンサーにぜひご協力ください。来月、あなたの成功をお祝いするのを楽しみにしています。



ジュネーブYMCAビル - ワイズメンズクラブ国際協会国際本部 (スイス・ジュネーブ) の本拠地

国際書記長

ジョース・ヴァルギース

切手を通じて仲間を作る

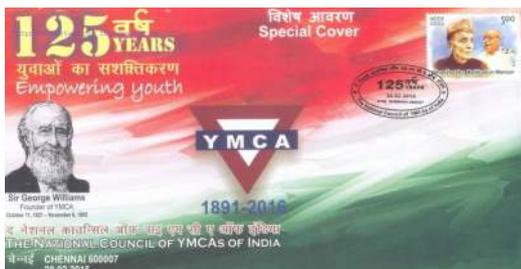
「切手は趣味の王様、王様の趣味」と言われます。しかし、ワイズメンズクラブ国際協会にとっては、1940年以来、この小さな紙片が、多くの「庶民」を切手好きにし、切手を集める動機付けとなってきました。すべては、その主要プログラムの一つであるビショップ基金 (BF)、後のブラザーフッド基金、現在のビルディング・フェローシップを通じて、グローバルな親睦を深めるために行われているのです。

「フィラテリー」とは、1864年にフランス人のM・エルパンによって作られた造語で、フランス語のphilatélie (ギリシャ語で愛を意味するphiloにa (否定) とteren (課税) を加えた言葉) の字訳であり、切手は手紙が受取人にとって無料で届いたことを証明するものであるためです。郵便切手によって、手紙は、非課税となったのです。広義には、切手、便箋、消印、切手付きのカードや封筒などを趣味で収集・研究することをフィラテリーと言います。大々的にやると、かなりお金がかかりますが、特定のテーマや題材に限定すれば、過度な努力や出費をせずに楽しむことができます。本格的なコレクターにとっては安全な投資であり、夢中になれる娯楽であるだけでなく、学習にも役立つ魅力的なものです。

カナダのシャーロットタウンに住むワイズマン、アーネスト (アーニー) V・ベルのような先見の明があり、熱心な切手収集家は、潜在的な可能性を見抜き、その情熱をYMI運動に注ぎ込みました。自分の趣味がクラブの楽しい気晴らしになり、ビショップ基金の収入源になるかもしれないと考えた彼は、切手を保存するようクラブ会員に呼びかけました。国際フィラテリスト (1940年～1964年) としてアーニーが取引業者に持ち込み、現金に換えるために、特別な例会で切手を水に浸し、分類し、包装することに専念していました。この活動は、会員間の文化交流のための資金調達が決定的な特徴になりました。例えば、カリフォルニア州サリナスのワイズメンは、木曜日の朝6時には、切手を仕分し、数え、束ねをする姿が見られました (写真参照)。

リベリアは、1972年に私たちの運動の50周年を記念して、2枚の記念切手を発行しました。韓国は1982年に韓国のソウルで開催された国際大会を記念して記念切手を発行しました。YMCAとYWCAは、アルバ、オーストラリア、カナダ、インド、ニュージーランド、フィリピン、アメリカなどの国々で、様々な機会やテーマで切手になっています。





切手の背景には、親睦と国際親善を深めるための取り組みがありました。1940年以来、切手販売による収益は、現金寄付と合わせて、世界中のクラブ会員をつなぐために使われてきました。国際大会への海外からの出席者を増やし、クラブ会員が多様な文化的環境でクラブ生活を体験するのに役立っています。

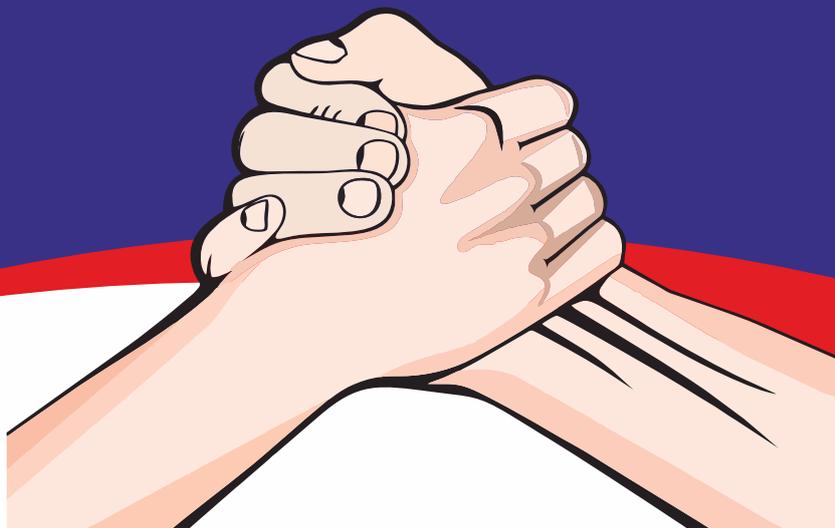
電子メールは、私たちが互いにコミュニケーションをとる方法を大きく変えました。スマートフォンやタブレットなどのデバイスが増え、特にパンデミックの時代には、WhatsApp、Google Meet、Zoomなどを通じて、互いに連絡を取り合う方法がさらに容易になりました。電子的なコミュニケーション形態の影響力は、拡大し続けています。前世紀の紙とペンは、影を潜め、切手も影を潜めているようです。その結果、BF基金のための使用済み郵便切手販売による収入も減少しています。

王様の趣味、むしろ趣味の王様は、多くの人にとってやりがいのあるものです。そして、アーニー・ベルと切手収集の栄光の日々の記憶は、毎年、使用済み切手販売による貢献度の高い10クラブに贈られるバナーパッチ、アーニー・ベル賞によって守られています。これは、1957年に彼の功績を称えて制定されました。言うまでもなく、BFの基金の一部は、熱心なフィラテリスト（切手収集家）のおかげで、使用済み切手の再販売から得られています。



YMI ワールド編集長
コシー・マシュ

親睦を深める



11月は「ビルディング・フェローシップ」の強調月間です。プログラムの推進、クラブ会員の意識向上、基金への寄付とBF代表、ホストへの申請の両方に焦点を当てましょう。

「ビルディング・フェローシップ」は、「ブラザーフード基金」の新しい名称です。2022年に名称が変わりましたが、基金の目的は変わりません。すなわち、クラブ会員の親睦を深め、YMI運動におけるリーダーシップを鼓舞することです。この使命を達成するため、「親睦を深める」プログラムでは、BF文化代表補助金、大会代表補助金（国際、地域、区の大会）、その他研修やリーダーシップ養成支援の機会など、いくつかの補助金を用意しています。

これらの補助金は、クラブからの寄付や使用済み切手販売による収入でまかなわれます。BF助成金の申請書は、申請者の所属クラブによる承認が必要です。BF補助金の申請は、次年度の補助金については2023年5月1日までに、BF代表を自宅/クラブで受け入れるための計画書については2022年12月1日までに提出することになっています。

クラブレベルおよび地域レベルでは、金銭的貢献、使用済み切手販売による収入、BF代表の受け入れなどに対して、いくつかの賞が用意されています。

ビルディング・フェローシップの元補助金受給者、デビー・レッドモンド（米国）は、「横浜で開催される国際議会と国際大会に参加するために、パーシャルグラントを申請していました。嬉しいことに、補助金が支給され、私は、一人で米国外への旅に出発しました。会議では、多くの国の人々と末永い友情を築き、多くの場所でワイズメンズが取り組んでいる素晴らしいプログラムについて知ることができました。」

日本や台湾への訪問を楽しみにしている補助金受給者、ロクサナ・メスタス・ボラノス（ラテンアメリカ、ペルー、サンボルハクラブ）は、次のように語っています。「BFプログラムを体験し、ラテンアメリカ地域だけでなく、私の国ペルーや私たちのクラブ、サンボルハだけでなく、東西日本区や台湾区のためにも、YMIの将来を見据えた学習をする時間になることでしょ。」

詳細については、以下のリンクをクリックしていただくか、jokanjamala@gmail.com までご連絡ください。

BFの詳細については、<https://www.ysmen.org/downloads/manuals-brochures/>

補助金の申請：<https://www.ysmen.org/our-work/programmes/brotherhood-fund/bf-grants>

寄付をご希望の方：<https://www.ysmen.org/donate/>



ジョース・カンジャマラ

BF国際事業主任

直前区理事（2021-2023）

北大西洋区 - 米国地域

YMIインパクトストーリー – タイム・オブ・ファスト (TOF) 基金 YMI、ハイチでジェンダー平等と質の高い教育のために戦う

不安定さと女性蔑視

熱帯の島国であるハイチは、気候が不安定であるため、その美しさが損なわれています。ハリケーンや洪水、地震に見舞われる一方で、高い貧困率と政情不安により、犯罪や暴力が後を絶ちません。ハイチ社会に根強く残る女性差別のために、女性は特に弱い立場に置かれています。二級市民とみなされることも多く、男性と同じような教育の機会もありません。女性に対する差別や虐待はよくあることで、悲しいことに、文化的規範となっています。

タイム・オブ・ファストの資金とホリゾン（1969年にスイスYMCA/YWCAの委託で設立されたスイスの青少年育成組織）とのパートナーシップにより、YWCAの「エスペース・スール」（安全な空間）、リーダーシップ・アカデミー、ポルト・オ・プリンス（ペーションヴィル）での夏季キャンププログラムは、2021年に600人を超える少女と若い女性に直接利益をもたらすことになりました。これらのプログラムは、以下のとおり、安全で協力的な環境を提供するものです。

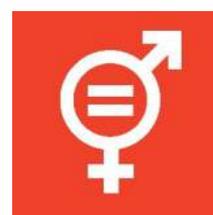
- ジェンダーに起因する暴力と闘う
- 性的な健康や権利に関する教育の提供
- 効果的なコミュニケーションの構築
- リーダーシップスキルの開発
- 起業家教育および金融リテラシーの提供

女性のエンパワーメントと男性の啓発

私たちは、このプロジェクトが、女性をエンパワーして他の女性を高揚させ、インスピレーションを与えるという長期的なインパクトを持つこと、そして、それに呼応して、男女間の格差を解消し、より健康で持続可能な活力を生み出し、国全体を公平で豊かなものにするために、男性の考え方を改造するという願いから、このプロジェクトを支持します。2021年に15,000米ドルで第1期のTOF助成が終了し、2022年に承認されたように13,500米ドルを追加して支援を継続できることを嬉しく思っています。

主要な数値の一部

- 5歳から18歳の少女と若い女性275人が「安全な空間」プログラムに参加しました。
- 19歳から35歳の若い女性293人が、リーダーシップ・アカデミーのコースに参加しました。
- 100人のハイチの少女が、毎年恒例のサマーキャンプで5週間を過ごしました。
- 47%の少女が家庭教師の助けを借りて学業成績を向上させ、学校に留まることができました。
- 86%が、リーダーシップ・アカデミーのプログラムを無事終了しました。
- 23人のリーダーシップ・アカデミー参加者が、2022年にYWCAハイチのユースセンターで働くメンターとしての訓練を受けるために選ばれました。
- 100人の参加者が銀行口座を開設することができました。



ジェンダー平等



質の高い教育



ホリゾンのプロジェクト報告書に基づく
(アメリー・ゴティエ)

国際会長の旅行記



ブバネシュワル・クラブ（オディシャ州）にて、クラブ会長と部長のスラジット・サフと

元地域会長ラビ・パニグラヒ、元区理事シャンティ・パニグラヒ、元区理事ローシャン・チラヤトとスラジット・サフ部長とオディシャ州ベルハンポール（中央インド区）にて



ケムペリタウンワイズメンズクラブによるワイズメンズスクエアと透析センターの定礎式



定礎式後のミーティング（チェンペリにて）。後ろに見えるのは建設予定の建物

編集長への手紙

ダニー編集長へ

2022年10月の国際会長ニュースについて

第1回目の記事「ご存知ですか」の最初の文章をもとに、YMCAで生まれたもう一つの球技、この場合は、ウルグアイのモンテビデオYMCAで生まれた球技の物語を紹介します。1930年、ウルグアイが第1回FIFAワールドカップの開催地となり、また、開催国が優勝もしたことから（当時はジュール・リメ杯）、子どもや若者の中でサッカーに大きな熱が入りました。...が、その時は真冬でした。そこでモンテビデオYMCA総主事のファン・カルロス・セリアーニが考案したのが、サッカー場より小さい硬いコートにラインを引き、主に屋内で、5人ずつの2チームで行うサッカーをベースにしたゲームです。コート、ボール、ルールは、狭いスペースでのボールコントロールとパス回しに適しています。このゲームでは、コントロール、即興性、創造性、テクニックが重視されます。「フットサル」は、急速に普及し、70年後の現在では、4年に1度、24カ国でFIFAカップの国際大会が開催されています。

ホアン・カルロス・セリアーニはYMCAを退職後、かねてから応援していたモンテビデオワイズメンズクラブ（私の所属クラブ）に入会し、亡くなるまで長きにわたり会員としての功績を挙げました。

ワイズメリー、心をこめて
シルビア・レイエス



Did You Know?

Ref.
IP NEWS
Oct 2022



編集後記

いい話、ニュース記事、プロジェクトの写真などをお持ちの方は、編集長までメールしてください。
ysnipnews@gmail.com

12月の特集は...
・キリスト教強調
・国際兄弟クラブ（IBC）

よろしくお祈りします。
ダニエル・トーマス
2022-23年国際会長ニュース編集長

翻訳 田尻忠邦
校閲 田中博之